

## 七段合格と新年の抱負

魚沼市剣道連盟 上村哲也(49)

この度、東京武道館にて七段昇段審査を受審して参りました。初挑戦であることから、まずは結果を恐れず「普段通りの立ち合い」を意識して審査に臨みました。

新型コロナウイルス感染症の影響で全国的に稽古自粛を余儀なくされ、5月に入りようやく面マスクやフェイスシールドの着用などを条件に、今までとは違う環境での稽古再開となりました。大会等はことごとく中止となり困難な状況ではありましたが、そのような中でも剣道ができるということのありがたさを強く感じました。

審査に挑戦するにあたり、週2回の小中学生への指導とその後、約1時間程度の稽古の中で自分の剣道をどう高めていくか、取り組むべき課題を明確にして稽古に臨み、ふりかえって修正するということを繰り返しました。

立ち合いでは気魄をもって構え、手の内を柔らかくして力まず、打ち間に攻め入ったら躊躇なく打ち切るということを意識して稽古しました。

審査は入場者の制限や消毒の徹底など、全剣連による厳重な感染予防対策がなされる中で行われました。本番では「打ちたい、打たれたくない」という思いを抑えることに気を使い過ぎてしまい「普段通りの立ち合い」ができたという実感はありませんでした。自身の修行不足と平常心を保つという事の難しさをあらためて痛感しております。

今回の合格はご指導いただいた先生方や剣友の皆様をはじめ、魚沼地区の小中学生やサポートしてくれた家族のおかげと心より感謝しております。

今後も精進をかさねて自身の修行に励むとともに、剣道を通じた地域の子供たちの育成に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

コロナ渦が収束し、稽古や試合が心おきなくできる日常が一日も早く戻ることを願っております。